

## 猿投地域の高齢者支援を考えるアンケートのお願い

猿投地域会議では、高齢者が安心して健康に暮らすことができるよう、高齢の方ご自身と、高齢の方を支える側の考えや思いをお聞きするためにアンケートを実施します。調査結果をもとに、猿投地域会議が高齢の方に必要な支援策を「高齢者健康長寿サポート事業」として市に提案<sup>※</sup>します。

お答えいただいた内容は統計的に処理し、秘密は保持しますので、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年6月

猿投地域会議 会長  
豊田市役所猿投支所長

※「猿投地域の課題を解決したいけれど、人手や資金面の負担が大きく、活動が踏み出せない」という場合、年間2千万円（1地域あたり）を上限に市の事業として予算化し、効果的な解決を目指す「地域予算提案事業」という制度です。事業は地域と行政が協力して進めます。

### ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、あなたの世帯で**年齢がもっとも上の方が**お書きください。その方のご記入が難しい場合は聞き取りし、**代わりの方が**お書きください。
- 2 アンケートの中で、「現在」と書いてあるものは、平成30年1月1日現在の状況を振り返り、お答えください。
- 3 記入後は同封の返信用封筒に入れ、平成30年7月6日（金）までにポストへ投かんしてください。投かんされる際は切手を貼らなくても結構です。

### 【ご記入についてのお問い合わせ先】

豊田市役所猿投支所 地域振興担当  
住所：郵便番号 470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1  
電話：0565-45-1214 FAX：0565-45-4824  
電子メール：sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

※このアンケートは27問で終了します。

このアンケートは、世帯※の中で**年齢がもっとも上の方が**お答えください。※同じ敷地内に住む別世帯の人も含みます。

その方にご記入いただくことが難しい場合は聞き取った内容、またはその方の考えや思いなどを**代わりの方が**お書きください。

① **あなた自身のことについてお聞きします。**

問1 あなたはどの自治区にお住まいですか。あてはまる番号にマルをつけてください。(以下、同じ)

- 1 猿投町
- 2 加納町
- 3 舞木町
- 4 本徳町
- 5 乙部町
- 6 亀首町
- 7 さなげ台
- 8 乙部ヶ丘第一

問2 平成30年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください。

- 1 20～29 歳
- 2 30～39 歳
- 3 40～49 歳
- 4 50～59 歳
- 5 60～64 歳
- 6 65～69 歳
- 7 70～74 歳
- 8 75～79 歳
- 9 80 歳以上

問3 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性
- 2 女性

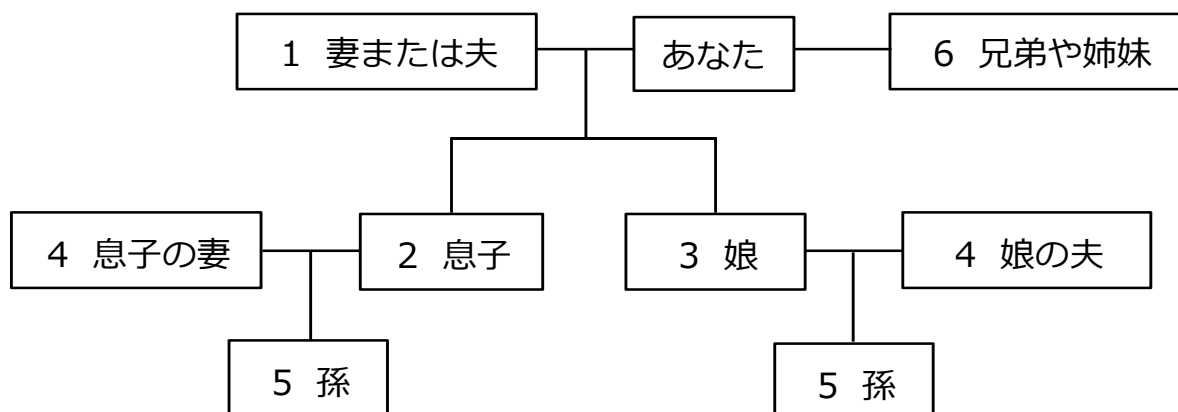
問4-1 あなた自身を含めて、何人で暮らしていますか。

人

問4-2 あなたと同居している方はどなたですか。(マルはいくつでも)

- 1 妻または夫
- 2 息子
- 3 娘
- 4 息子の妻や娘の夫
- 5 孫
- 6 兄弟や姉妹
- 7 同居している人はいない
- 8 その他 ( )

<続柄の図>



問4-3 あなた自身も含め、同居する家族の中に次の方はいらっしゃいますか。(マルはいくつでも)

- 1 65歳以上
- 2 介護が必要な方
- 3 乳幼児
- 4 小学生
- 5 中学生
- 6 1～5にあてはまる人はいない

**② あなたの健康に関することについてお聞きします。**

問5 あなたの現在の健康状態はどうか。

- 1 よい
- 2 まあ、よい
- 3 ふつう
- 4 あまりよくない
- 5 わるい

問6 あなたは過去1年間に人間ドックや健康診断を受けましたか。

- 1 受けた
- 2 受けていない

問7 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何らかの影響がありますか。

- 1 ある ⇒ 問7-1へ
- 2 ない ⇒ 問8へ

問7-1 問7で「ある」と答えた方にお聞きします。どのようなときに影響がありますか。(マルはいくつでも)

- 1 動作(着替え、食事、入浴、歩行等)
- 2 外出
- 3 仕事や家事、学業
- 4 運動
- 5 その他( )

問8 もし、あなたが体調を崩したとき、どなたが看病やお世話をしてくれますか。(マルはいくつでも)

- 1 妻または夫
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟や姉妹
- 5 親
- 6 孫
- 7 親せき
- 8 近所の人
- 9 友人
- 10 ヘルパーなど介護職の人
- 11 その他( )
- 12 そのような人はいない

問9 あなた自身が健康に不安を抱えるようになったら、民生・児童委員や地域包括支援センターの職員などがあなたの自宅を定期的に訪問してほしいですか。

- 1 訪問してほしい
- 2 訪問してほしくない
- 3 現在、訪問してもらっている
- 4 わからない
- 5 その他 ( )

問10 あなたは日ごろ、健康のために次のようなことに取り組んでいますか。(マルはいくつでも)

- 1 朝・昼・夕の食事を規則正しくとっている
- 2 バランスのとれた食事をとっている
- 3 健康食品をとっている
- 4 食べ過ぎないようにしている
- 5 散歩したり適度に運動したりしている
- 6 睡眠を十分にとっている
- 7 たばこは吸わないようにしている
- 8 ストレスをためないようにしている
- 9 お酒を飲みすぎないようにしている
- 10 歯の健康に気を付けている
- 11 その他 ( )
- 12 取り組んでいることはない

**③ あなたの日常生活についてお聞きします。**

問11 あなたは日常生活において気分転換できていますか。

- 1 十分にできている
- 2 まあ、できている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

問 1 2 あなたは日常的にどのようなことをして過ごしていますか。  
(マルはいくつでも)

- 1 仕事（農業や畑仕事を含む）
- 2 家事や育児（孫の世話）
- 3 個人で行う趣味の活動
- 4 趣味のサークルやクラブ活動
- 5 学習や教養を高める活動
- 6 N P Oやボランティア活動
- 7 散歩やスポーツなど、体を動かす活動
- 8 家庭菜園
- 9 自治区や交流館などの地域活動
- 1 0 高齢者クラブの活動
- 1 1 友人や知人など、気の合う仲間との交流
- 1 2 テレビを見たり、ラジオを聴いたりする
- 1 3 その他（ ）
- 1 4 特に何もしていない

問 1 3 現在は行っていないけれど、今後、行ってみたい活動や、できたらいいなと思うような活動はありますか。(マルはいくつでも)

- 1 仕事（農業や畑仕事を含む）
- 2 家事や育児（孫の世話）
- 3 個人で行う趣味の活動
- 4 趣味のサークルやクラブ活動
- 5 学習や教養を高める活動
- 6 N P Oやボランティア活動
- 7 散歩やスポーツなど、体を動かす活動
- 8 家庭菜園
- 9 自治区や交流館などの地域活動
- 1 0 高齢者クラブの活動
- 1 1 友人や知人など、気の合う仲間との交流
- 1 2 その他（ ）
- 1 3 特にない

問14 あなたは現在、どのような悩みや心配ごとがありますか。  
(マルはいくつでも)

- 1 家族との関係
- 2 友人や知人との関係
- 3 話し相手がいない
- 4 生活費のこと
- 5 自分の介護のこと
- 6 自分の健康や病気のこと
- 7 同居する家族の健康や病気のこと
- 8 家族や親族に対する介護のこと
- 9 子や孫の将来のこと
- 10 財産管理や遺産相続のこと
- 11 運転免許証の返納のこと
- 12 その他 ( )
- 13 ない ⇒ 問15へ

問14-1 問14の心配ごとや悩んでいることについて、相談したい人や場所を教えてください。(マルはいくつでも)

- 1 家族などの身内
- 2 近所の人
- 3 友人や知人
- 4 民生委員
- 5 ケアマネージャー
- 6 元看護師や病院に勤めていた人
- 7 同じ境遇の人
- 8 病院
- 9 薬局
- 10 地域包括支援センター「猿投の楽園」
- 11 市役所
- 12 その他 ( )
- 13 相談したい人や場所はない



問15 あなたはどのような方法（交通手段）で買い物や病院などへ行っていますか。（マルはいくつでも）

- 1 自分で運転（自動車やオートバイ）
- 2 家族の運転
- 3 友人や知人の運転
- 4 バスなどの公共交通機関
- 5 タクシー
- 6 自転車
- 7 徒歩
- 8 その他（ ）
- 9 買い物や病院へは行かない

問16 あなたの家の近くに高齢者が気軽に立ち寄れるような場所がありますか。

- 1 ある ⇒ 問16-1へ
- 2 ない
- 3 わからない } ⇒ 問17へ

問16-1 問16で「ある」と答えた方にお聞きします。高齢者が気軽に立ち寄るのはどのような場所ですか。（マルはいくつでも）

- 1 友人や知人の家
- 2 喫茶店
- 3 公園
- 4 自治区の集会所
- 5 交流館
- 6 コンビニエンスストア
- 7 その他（ ）

問 1 7 地域の集会所を開放したら、あなたは利用しますか。

- 1 利用する
- 2 利用しない
- 3 わからない

問 1 8 もし、あなたが日常生活を送るうえで不安を抱えるようになったとき、地域の方に手伝ってほしいことはありますか。  
(マルはいくつでも)

- 1 見守り
- 2 話し相手
- 3 ごみ出し
- 4 草取りや水やりなど、庭の手入れ
- 5 電球の取り替え
- 6 自分の代わりに買い物
- 7 犬の散歩などペットの世話
- 8 買い物など外出の付き添い
- 9 家の内外の簡単な掃除
- 1 0 その他 ( )
- 1 1 わからない
- 1 2 特にない

問 1 9 地元のボランティアが高齢者のお宅を訪問し、簡単な作業などを行う「お助け隊」を猿投地域に立ち上げたら、あなたは利用しますか。

- 1 利用する
- 2 利用しない
- 3 わからない

④ 介護予防（介護が必要な状態にならないための予防）についてお聞きします。

問20 今後、介護予防のための講座や研修に参加したいですか。  
(講座等の開催場所は自治区の集会所という前提でお答えください。)

1	参加したい	⇒ 問20-1へ
2	参加したくない	} ⇒ 問20-2へ
3	参加できない	
4	わからない	} ⇒ 問21へ
5	講座や研修を受けたことがある	
6	現在、介護を受けている	
7	その他 ( )	

問20-1 問20で「参加したい」と答えた方にお聞きします。次のうち、どの内容だったら参加してもよいと思いますか。  
(マルはいくつでも)

1	食生活の見直しや栄養の改善	} ⇒ 問21へ
2	転倒や骨折の予防、運動能力や筋力の向上	
3	うつ病や閉じこもりの予防	
4	口の中の衛生管理や、歯の病気の予防	
5	頭や体を使う脳トレーニングなどの認知症予防	
6	その他 ( )	

問20-2 問20で「参加したくない」または「参加できない」と答えた方にお聞きします。介護予防のための教室等に参加したくない理由を教えてください。(マルはいくつでも)

1	健康や体力に不安なところがない
2	時間がない
3	申込みや、参加そのものがめんどう
4	会場への交通手段がない
5	一人では参加しにくい
6	その他 ( )

⑤ 認知症についてお聞きします。

※認知症：脳の働きが悪くなり、生活するうえで支障が出て、身体の活動もスムーズに運ばなくなる状態のことです。

問2 1 あなたや、あなたの家族は認知症の方を介護したことがありますか。

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 現在、介護している | } ⇒ 問2 1 - 1 へ |
| 2 以前は介護していた |                |
| 3 介護したことがない | } ⇒ 問2 2 へ     |
| 4 その他 ( )   |                |

問2 1 - 1 問2 1で「現在、介護している」または「以前は介護していた」と答えた方にお聞きします。認知症の方を介護するうえで、どのような困りごとがありますか。(マルはいくつでも)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 睡眠が十分にとれないなど、肉体的に負担がかかる  |
| 2 ストレスが発散できないなど、精神的に負担がかかる |
| 3 介護に時間がとられ、自由に行動ができない     |
| 4 介護にお金がかかり、経済的な負担が大きい     |
| 5 その他 ( )                  |
| 6 特に困ったことはない               |

問 2 2 あなたの家族に認知症の疑いがあるとき、相談したい人や場所を教えてください。(マルはいくつでも)

- 1 家族などの身内
- 2 近所の人
- 3 友人や知人
- 4 民生委員
- 5 ケアマネージャー
- 6 元看護師や病院に勤めていた人
- 7 同じ境遇の人
- 8 病院
- 9 薬局
- 10 地域包括支援センター「猿投の楽園」
- 11 市役所
- 12 民間の介護サービス事業者
- 13 その他 ( )
- 14 わからない
- 15 相談したい人や場所はない

問 2 3 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(マルはいくつでも)

- 1 地域で見守る体制や近隣住民の声かけ
- 2 認知症に対する地域の理解
- 3 悩みごとが相談できるような、精神的な支えとなる場所の充実
- 4 対応方法の教室
- 5 自治区内での情報共有
- 6 早期発見につながる診断や受診の機会づくり
- 7 認知症の発見から治療、介護などの情報
- 8 わからない
- 9 その他 ( )

⑥ 地域で高齢者を支え合う仕組みについてお聞きします。

問 2 4 あなたや、あなたの家族が高齢者などを支える側として、取り組めそうな活動を教えてください。(マルはいくつでも)

- 1 見守り
- 2 話し相手
- 3 ごみ出し
- 4 草取りや水やりなど、庭の手入れ
- 5 電球の取り替え
- 6 健康づくりのお手伝い
- 7 買い物の代行
- 8 犬の散歩などペットの世話
- 9 通院や買い物など外出の付き添い
- 10 家の内外の簡単な掃除
- 11 その他 ( )
- 12 わからない
- 13 特に考えていない

⑦ 豊田市の高齢者福祉に関する取り組みについてお聞きします。

問25 高齢者を支えるための豊田市の支援事業について、あなたが知っているものを教えてください。(マルはいくつでも)

- 1 ひとり暮らし高齢者等登録制度
- 2 緊急通報システム設置
- 3 福祉電話訪問
- 4 避難行動要支援者名簿制度
- 5 ひとり暮らし高齢者等移動費助成 (タクシー券)
- 6 シルバーカー (歩行補助車) 購入費助成事業
- 7 お元気ですかボランティア訪問事業
- 8 徘徊い高齢者・障がい者等事前登録制度
- 9 GPS 機器助成
- 10 高齢者虐待の防止等に関する相談窓口
- 11 元気アップ教室
- 12 地域 (基幹) 包括支援センター
- 13 どれも知らない ⇒ 問27へ

最後のページに左記の各制度の説明があります。

問26 あなたは問25でお聞きした事業を利用していますか。(マルはいくつでも)

豊田市の支援事業	利用している	過去に利用したことがある	利用したことはない
ひとり暮らし高齢者等登録制度			
緊急通報システム設置			
福祉電話訪問			
避難行動要支援者名簿制度			
ひとり暮らし高齢者等移動費助成			
シルバーカー購入費助成事業			

豊田市の支援事業	利用している	過去に利用したことがある	利用したことはない
お元気ですかボランティア訪問事業			
徘徊高齢者・障がい者等事前登録制度			
G P S 機器助成			
高齢者虐待の防止等に関する相談窓口			
元気アップ教室			
地域(基幹)包括支援センター			

問27 高齢者福祉について、ご意見やご要望等がありましたら記入してください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力くださり、ありがとうございました。  
この用紙を3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らず、平成30年7月6日(金)までにポストへ投かんしてください。



※豊田市の高齢者福祉に関する支援事業（問25・26の選択肢の説明）

制度	説明	問合せ先
ひとり暮らし高齢者等登録制度	ひとり暮らし高齢者に関する情報を豊田市消防本部の通信機に登録することで、急病等の緊急時に登録された情報の確認を迅速に行い、高齢者の安全確保を図ります。	福祉総合相談課 電話 34-6791
緊急通報システム設置	ひとり暮らし高齢者等の安全を確保するため、急病や災害等の緊急時に消防署へ通報する機器を設置します。	高齢福祉課 電話 34-6984
福祉電話訪問	ひとり暮らし高齢者の登録があるかたで、介護保険の認定を受けているかたに、安否確認と孤独感の解消のために電話訪問を行います。	高齢福祉課 電話 34-6984
避難行動要支援者名簿制度	災害時に自分で避難することが難しく、避難の支援を必要とする避難行動要支援者の名前や住所、必要な支援や連絡先などの情報を地域で共有し、災害時に支援を行える体制を進めます。	福祉総合相談課 電話 34-6791
ひとり暮らし高齢者等移動費助成	日常生活に介護または支援を要し、移動に関して家族の支援を受けることが困難なひとり暮らし等の高齢者に対して、タクシーの乗車料金の一部を助成します。	高齢福祉課 電話 34-6984
シルバーカー（歩行補助車）購入費助成事業	足腰の衰え等がある方に、歩行の補助として使うシルバーカー（歩行補助車）を購入する費用の一部を助成します。	高齢福祉課 電話 34-6984
お元気ですかボランティア訪問事業	ひとり暮らし高齢者等の安否確認と孤独感解消のため、ボランティアが訪問し、お話を伺います。	高齢福祉課 電話 34-6984
徘徊い高齢者・障がい者等事前登録制度	認知症等が原因で行方不明になった高齢者等を早期発見するために、メール登録者にメール配信するサービスです。	高齢福祉課 電話 34-6984
GPS 機器助成	徘徊のおそれのある高齢者などが探知機を持ち、いざ行方不明となった際に速やかに発見できる機器の初期費用を助成します。	高齢福祉課 電話 34-6984
高齢者虐待の防止等に関する相談窓口	高齢者の権利や利益を守るための相談窓口です。	福祉総合相談課 電話 34-6791
元気アップ教室	介護予防を目的に、ストレッチや筋力アップ体操、能力アップなどを地域の集会所で行う教室です。	地域保健課 電話 34-6627
地域（基幹）包括支援センター	地域で暮らす高齢のみなさんを、介護・福祉・保健・医療などの面から総合的に支えるため、中学校区ごとに設置された施設です。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等の専門職が協力して、高齢のみなさんを支援しています。	高齢福祉課 電話 34-6984

このページは取り外せません。問25と26に回答するときや、保存用の資料としてご利用ください。